

記者発表（資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所名	電話番号	発表者名	その他 配布先
2/14 (水)	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科	(078) 891-7376	研究科長 室崎 益輝 (神戸防災キャンパス経営部長 多田 幸雄)	—

## 減災復興国際シンポジウムの開催について

平成 29 年 4 月に開設しました兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科では、「コミュニティ中心の災害復興～Community-centered Recovery from Disaster～」をテーマに、下記のとおり減災復興国際シンポジウムを開催します。

### 記

- 1 日時 平成 30 年 2 月 16 日 (金) 13:00～17:00 (開場 12:30)
- 2 会場 ラッセホール 2 階 ローズサルーン (神戸市中央区中山手通 4-10-8)
- 3 テーマ コミュニティ中心の災害復興～Community-centered Recovery from Disaster～
- 4 内容
  - (1) 基調講演  
「コミュニティベースの災害復興：ジョグジャカルタ 2006～2017 年からの教訓」  
ガジャマダ大学工学部建築計画学科 イカプトラ准教授 (インドネシア)
  - (2) ネパールからの報告  
「社会・文化的な観点からみた 2015 年地震後の復興  
—Bhaktapur (Kathmandu Valley) と Jalbire (Sindhupalchok) 」  
コパ工科大学都市デザイン・保存学部 モハン・パント教授 (ネパール)  
「ネパールの辺境の村から始まる持続可能な取り組み」  
CODE 海外災害援助市民センター 吉椿雅道事務局長
  - (3) 兵庫からの報告  
「阪神・淡路大震災からの復興の教訓と世界への発信」  
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 室崎益輝研究科長  
「『+クリエイティブ』で阪神・淡路大震災の教訓を世界に発信」  
NPO 法人プラス・アーツ 永田宏和理事長
  - (4) パネルディスカッション  
パネリスト ガジャマダ大学工学部建築計画学科 イカプトラ准教授  
コパ工科大学都市デザイン・保存学部 モハン・パント教授  
CODE 海外災害援助市民センター 吉椿雅道事務局長  
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 室崎益輝研究科長  
NPO 法人プラス・アーツ 永田宏和理事長  
コーディネーター 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 澤田雅浩准教授

### 【参考：減災復興政策研究科（修士課程）の概要】

- ・開設時期 平成 29 年 4 月
- ・研究科長 室崎益輝
- ・入学定員 12 人 (初年度入学者数 13 人)
- ・修業年限 2 年

### (問い合わせ先)

- ・本シンポジウムに関すること  
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 (准教授：馬場) TEL 078-271-3292
- ・本研究科全般に関すること  
兵庫県立大学事務局 神戸防災キャンパス経営部総務学務課 (課長：西谷) TEL 078-891-7376